

## 青山士とパナマ運河 100 年:アメリカ土木学会 Global Engineering Conference 2014 in Panama City への参加報告 & 講演会開催報告

国際センター米国グループは、2015 年 4 月 2 日に土木学会講堂（東京）にて、「青山士とパナマ運河 100 年」と題したアメリカ土木学会 Global Engineering Conference 2014 in Panama City への参加報告、並びに講演・DVD 上映会を開催しました。

会場には、青山士の写真やゆかりの品等が多数展示されました。100 年前に青山士が設計した図面は、手書きによるものとは思えないほど精巧な図面であり、見る人に驚きを与えていました。

磯部土木学会会長からの挨拶により開会し、参加報告では、米国グループメンバーから、アメリカ土木学会 (ASCE) 年次大会、土木学会 (JSCE) 特別セッション及び現場視察の概要が報告されました。JSCE 特別セッションの概要では、磯部会長が講演した内容について紹介しました。「生涯に一つでも人類のためになるような仕事をしてから死にたい」という夢をいただき、単身パナマに渡りパナマ運河建設に貢献し、その後、日本国内のインフラ整備に大きく貢献したという青山士の紹介は、会場から“Beautiful Presentation”と称賛され、特に、「私はこの世を私が生まれてきたときより良くして残したい」という青山士のモットーに多くの会場の人が共感したとのことでした。

高橋裕東京大学名誉教授からは青山士にまつわる講演をいただきました。青山士から直接伺ったという貴重なお話を当時の社会的背景とともにわかりやすく語っていただき、その内容はとても興味深いものでした。最後に、JSCE 特別セッションで放映した DVD “Akira Aoyama’s Achievements on Panama Canal Project” が上映され、大西土木学会専務理事からの挨拶で閉会しました。

予定時間から 30 分オーバーする程熱の入った報告・講演となり、参加者も興味深く聴き入っていました。



パネル展示の様子



パネル展示の様子

【記 国際センター情報グループ委員 後岡寿成】